

魚釣り



1 ねらい

魚を釣るという楽しさを味わうだけでなく、その活動を通して自分で釣った魚をはじめ、瀬戸内海の生物に対する興味・関心を高める。

2 所要時間 2時間30分程度

3 活動人数 45人(1グループ 3～4 人)

4 活動場所 海浜活動棟周辺突堤・浮き栈橋

5 釣り方 みやく釣り、浮き釣り、穴釣り※穴釣りは潮の満ち引きにより不可の場合あり

6 参加者の服装および準備物 活動に適した服装(運動ができる服装・運動靴・帽子・タオル)

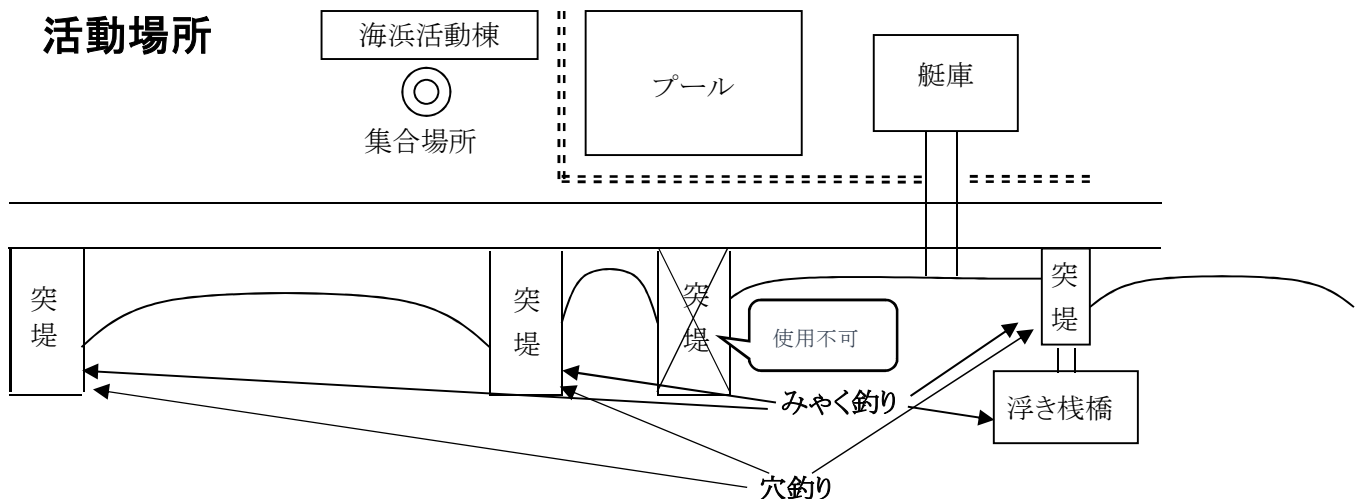
※夏季は帽子を着用

★各学校で餌を準備(ゴカイ1人あたり10～15g程度)

7 活動の流れ ※いかだ活動(6～9月)・カッター(4～11月)と活動場所が重なる為、職員と相談する。

- (1) 海浜活動棟前に集合する。
- (2) 当所の職員から活動の説明を聞き、道具等の貸し出しを受ける。
- (3) ライフジャケットを着用する。
- (4) 活動場所に移動して活動する。その際、それぞれの活動場所に必ず引率者同行。

活動場所



※上記の3ヶ所から、その日の天候等によって選択。

(5) 釣り方について 注…下線部は危険が伴う行為

- ① 活動場所に移動後、竿を伸ばしながら仕掛けをほどいていく。
 - ② 仕掛けが巻いてあったと杓と洗濯バサミは、なくさないようにポケット等に入れ、管理する。
 - ③ 針にえさをつけ、振り回さず静かに海に投入する。
 - ④ さお先を少し上下に動かしながら魚を誘う。
 - ⑤ 場所が変わるときは、必ず片手で仕掛けのおもりを持って針などが服にからまないように移動する。
 - ⑥ 釣れた魚はヒレなどに毒がある魚もいるので絶対に素手で触らない。ぞうきん等を使って安全に針をはずす。
 - ⑦ 魚が針を飲み込んではずせない場合は、修理セットに入っているプライヤーで取るか、職員に申し出る。
 - ⑧ 糸や針などを切ってしまった場合は、修理セットを使って修理をするか、職員に申し出る。
 - ⑨ 竿が折れたり、使えない状況になったりした場合は、すみやかに職員に申し出る。
- ※④は浮き釣りではない。

(6) 片付けについて

のべ竿

1. 針や糸が切れた場合は、最初に貸し出した状態に戻すため、修理セットを使って修理するか職員に申し出る。
2. 最初に仕掛けが巻いてあった杓に、まず針からかけ、糸を竿先まで巻いて止める。
3. 竿の中に入っている砂等を蛇口で洗い流す。
4. ぞうきんで水気を取り、借りた状態に戻し、職員の点検を受ける。
5. 釣り倉庫の中に返却する。



各グループで貸し出しされたバケツ、えさ箱、ぞうきんを水道できれいに洗い流し、職員の点検を受ける。その後、釣り倉庫へ返却する。



1. 最後に、全員集合した場所に整列し、釣果の発表を行う。
2. あいさつをする。→解散
3. その後、釣った魚はリリースする。

(7) 留意事項

荒天、高温、気象(落雷・突風)、海象の急変により、活動を中止することがある。詳細は別紙(海活動の中止基準)参照。